

J Aバンク補助教材(平成 25 年度版)改訂の主なポイント

1 総括

平成 25 年度版については、総ページ数を 44⇒40 ページにスリム化を図るとともに、直近の話題等の紹介、最新データ・写真などへの差替え、デザインの微調整などを実施した。

2 主な具体的変更点など

(1) 表紙 (表・裏) :

- ・ スリム化のため、目次を表紙 (表) に掲載した。
- ・ 「J Aバンク」ロゴを表・裏両面に掲載した。
- ・ 児童の感想文募集について、鉛筆をプレゼントプレゼントすることを裏表紙にイラスト入りで記載した。
- ・ 色の変更 (オレンジからライトブルー) など連続性を維持しながらも新年度版であることが一目で判別できるよう、変更した。

(2) 単元の変更: 旧単元⑧「田のはたらき」と⑨「田の生き物と植物」を統合し、新単元⑧「田のはたらき」とし、以下の番号を繰り上げ (単元数減少)。

(3) 震災関係の記載 :

- ・ 新単元⑬「農産物のねだんの決まり方」において、「ふかめる 消費行動によって変わる農産物のねだん」のコラムで原子力発電所の事故を採り上げるとともに、「放射線の量」のコラムを設けた。(教師用教材ではさらに詳しい資料を 1 ページを使って掲載。)
- ・ 新単元⑰「農業をつなげる」では、被災地での復興プロジェクトの事例として「仙台白菜」の取組みを紹介した。

(4) 新たな話題の採用等 :

- ・ 新単元④「地形と農業のかかわり」に「丘陵」を追加するとともに、地形や土地の特徴を活かして行っている農業として、従来の「盆地でのブドウ栽培」に加え、体験学習等でも子どもたちに身近な作物となってきたサツマイモの「砂地等での栽培」を掲載した。
- ・ 新単元⑰「農業をつなげる」では、6次産業化に取り組む事例として、「酪農家によるジェラート店」を紹介した。
- ・ 新単元⑱「村を守ろう」では、体験学習でも必須となっている「鳥獣被害防止」のための森林保全の取組み、自然 (再生可能) エネルギー「農業用水路を活用した水力発電」を紹介した。

以 上